## 【樹木・草花の部屋】

## スギ(ヒノキ科スギ亜科スギ属 Cryptomeria japonica)

和名;スギ 別名; 英名;

マツ目 常緑針葉樹

原産地; 花言葉; 花の色;



<u>写真-2</u> スギの枝葉 ⇒

撮影日:2012年10月20日 撮影場所:宇陀市榛原運動公園にて

撮影者:M さん

沢沿いなど水分と栄養分に富む環境を好み、 深根性で、根を深くまで伸ばす。葉は基部が 枝に密着して、先は針状に尖り、枝全体とし ては一面に上向きの針を並べたようになる。 樹皮は褐色で、成長した幹の樹皮は縦に裂け、 帯状に剥げ易い。樹形はふつう細長く直立し、 高さ50 mに達するものもあるが、生育条件 ← 写真-1 スギの樹形

撮影日:2012年10月20日 撮影場所:宇陀市榛原運動公園にて

撮影者: M さん

日本固有種で、九州の屋久島から北は東北地方までを原産地としていますが、木材資源として重要で古くから植林されてきたために正確な原産地は分かっていないようです。スギには多くの地域品種があり、天竜杉、屋久杉、吉野杉、北山杉、秋田杉、山武杉などが有名。本種は単型であり、本種のみでスギ属(Cryptomeria属)を形成しています。



などによっては幹が太くなる。屋久島の縄文杉は樹高 25.3 m、胸高周囲 16.4 m に・・・。 この木の推定樹齢は放射性炭素年代測定法により 1970 年以上、また大王杉は樹高 24.7 m、 胸高周囲 11.1 m、推定樹齢 3200 年以上とか・・

## 【樹木・草花の部屋】

<u>写真−3</u> スギの葉 ⇒

撮影日:2010年9月4日スキャン 採取場所:奈良県立高等技術専門校にて

提供者: M さん

葉はらせん状に互生します。葉の形は鎌状に多少 湾曲した針形です。針葉樹でも萌芽力に富んでいて あちこちから枝が出て形を乱しやすい。

## くちょっと一言>

花は雄花と雌花があり、2月から4月に開花。ス ギは風媒花で多量の花粉を飛ばすため、開花期には 花粉症の原因に。樹皮はヒノキとともに檜皮葺(ひ



わだぶき)の屋根に利用。葉は乾燥して線香に。 主に住宅の柱材として利用されるほか構造 用合板としてや集成材としても利用される。また、今では懐かしい子供のおもちゃとして、 スギの雄花の未熟なものを弾にする、ごく細い竹で作る杉玉鉄砲がある。細い竹の管と、竹 籤に柄をつけたものを用意し、まず管に雄花を詰め、竹籤で押し込む。そのあとにもう一つ の雄花を詰め、竹籤で押し込めば、空気圧によって前の雄花が破裂音とともに飛び出すもの。

スギ科(ヒノキ科スギ亜科とすることも多い)は、中生代に登場した起源の古い植物群で、 現在は日本のスギの他、アメリカ大陸セコイナア Sequoia sempervirens、中国のメタセコイ ア Metasequoia glyptostroboides、コウヨウザン Cunninghamia lanceolata などが遺存的に 分布しています。

スギの名の由来は、真直ぐの木「直木」から来ていると言われているそうですが、本居宣長は、スギは傍らにはびこらず上へ進み上る木として「進木(ススギ)」としており、「直木(スグキ)」は誤りとしているそうです。欧米言語の翻訳文章では、しばしば Cedar 類をスギと訳すのが慣例とか・・。和名にもレバノンスギ (Cedrus libani)、ヒマラヤスギ (Cedrus deodara)といったようにスギの名が使われていますが、Cedar 類はスギのようにまっすぐ成長するもののマツ科 (Pinaceae 科)で、本種とは縁が遠い。漢字の「杉」は、日本ではスギのことを指しますが、中国ではコウヨウザンのことを・・。中国では日本の杉の仲間を「柳杉」と呼ぶそうです。他にも「椙」の字の表記もあるそうですが、「椙」はいわゆる国字であり、日本でしか通じないそうです。